平成20年３月期　第１四半期財務・業績の概況

平成１９年 ８ 月 １ 日

上 場 会 社 名　日本レヂボン株式会社　上場取引所　大証二部
コ ー ド 番 号　５３８９　ＵＲＬ　http://www.resibon.co.jp/
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）今立　康一
問合せ先責任者　（役職名）専務取締役　管理本部長　（氏名）浜田　和好　ＴＥＬ　(06)6538－0136

（百万円未満切捨て）

１．平成20年３月期第１四半期の連結業績（平成19年４月１日　～　平成19年６月30日）

(1)　連結経営成績　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	3,638	△4.4	264	△5.0	254	△3.8	122	－
19年3月期第1四半期	3,804	6.5	278	9.4	264	△6.7	122	△5.5
19年３月期	16,266	－	1,188	－	1,195	－	531	－

	１株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益
	円　銭	円　銭
20年3月期第1四半期	18.60	—
19年3月期第1四半期	18.60	—
19年３月期	80.66	—

(2)　連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
20年3月期第1四半期	16,193	7,792	43.2	1,183.57
19年3月期第1四半期	15,456	6,977	41.2	1,059.37
19年３月期	15,916	7,549	42.9	1,037.28

２．平成 20 年３月期の連結業績予想（平成 19 年４月１日　～　平成 20 年３月 31 日）　【参考】

（%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円　%	百万円　%	百万円　%	百万円　%	円　銭
中　間　期	7,400　△5.6	500　△11.3	500　△9.7	180　△35.5	27.34
通　　期	15,200　△6.6	1,100　△7.5	1,100　△8.0	450　△15.3	68.35

３．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)　：　無
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無　：　有
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無　：　無

［(注) 詳細は、４ページ【定性的情報・財務諸表等】　４．その他をご覧ください。］

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成 19 年５月 18 日発表の通期連結業績予想を修正しておりません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の４ページをご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資の増加など景気は概ね好調に推移いたしました。しかし、一方では、米国経済は住宅市場の低迷や景気が減速する等先行き不透明感も漂う状況が続いております。

このような状況のなか、当企業集団の主要な事業領域であります砥石・研磨布紙事業は、生産効率の向上とコスト削減及び供給能力拡大によるリードタイムの短縮に注力しつつ、新製品切断砥石の拡販と市場シェア拡大に向けて提案型営業の強化を図り、また、インドネシア向け輸出の回復と海外子会社の堅調な輸出拡大を背景に売上高は順調に拡大いたしました。

しかしながら４月１日より、子会社との砥石販売について直接取引体制に商流を変更した影響で、これにかかる親子間の売上高（３７２百万円）が減少したことより、連結売上高は３，６３８百万円となり、前年同期比１６６百万円（４．４％）減収となりました。

利益面では、海外生産子会社のドル建て輸出に対するバーツ高から、輸出採算の悪化と為替差損の発生が影響して、営業利益は、前年同期比１３百万円（５．０％）減益の２６４百万円、経常利益は、前年同期比１０百万円（３．８％）減益の２５４百万円となりました。

四半期当期純利益は、特別損失の減少によりほぼ前年同期並みの１２２百万円となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ２７６百万円（１．７％）増加して１６，１９３百万円となりました。

流動資産は８，５０８百万円となり、前連結会計年度末に比べ３４百万円（０．４％）減少いたしました。これは主に、売上債権が６２０百万円減少し、現金及び預金が３８６百万円増加、たな卸資産が１４７百万円増加したことによるものであります。

固定資産は７，６８４百万円となり、前連結会計年度末に比べ３１０百万円（４．２％）増加いたしました。これは主に、海外生産子会社の第２工場建設等に伴い有形固定資産が３３６百万円増加したことによるものであります。

流動負債は６，７８１百万円となり、前連結会計年度末に比べ１０２百万円（１．５％）増加いたしました。これは主に、仕入債務３９５百万円の減少と季節要因の短期借入金が５１１百万円増加等によるものであります。

固定負債は１，６１８百万円となり、前連結会計年度末に比べ６９百万円（４．１％）減少いたしました。主な要因は長期借入金１１１百万円返済等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ２４３百万円（３．２％）増加して７，７９２百万円となりました。これは、四半期当期純利益を１２２百万円計上する一方、配当金の支払により利益剰余金が８９百万円増加、為替換算調整勘定が８７百万円増加し、その他有価証券評価差額金１７百万円減少等によるものです。

この結果、自己資本比率は、４３．２％となりました。

３．連結業績予想に関する定性的情報

当第１四半期の業績は、海外子会社で為替差損の影響がありましたが業容拡大により概ねカバーしてほぼ計画通り推移いたしました。インドネシア向け輸出および海外子会社の輸出は現時点で堅調に推移しており、また、５０周年記念セールの推進などにより連結業績予想は平成19年５月18日発表の数値を修正しておりません。

４．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

当四半期におけるたな卸資産のたな卸高は、実地たな卸を行わず、前連結会計年度末にかかわる実地たな卸高を基礎として、帳簿たな卸によって算定しております。その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

５．（要約）四半期連結財務諸表

(1)　（要約）四半期連結貸借対照表

（単位：千円、％）

科目	前年同四半期末（平成19年3月期第1四半期末）金額	当四半期末（平成20年3月期第1四半期末）金額	増減 金額	増減 増減率	（参考）前期末（平成19年3月期末）金額
（資産の部）					
Ⅰ流動資産					
現金及び預金	2,033,330	2,273,789	240,458	11.8	1,886,898
受取手形及び売掛金	4,854,150	4,689,644	△164,505	△3.4	5,310,216
たな卸資産	1,161,722	1,327,741	166,018	14.3	1,180,169
その他	178,931	217,157	38,226	21.4	165,351
流動資産合計	8,228,134	8,508,332	280,198	3.4	8,542,637
Ⅱ固定資産					
有形固定資産	6,248,402	6,899,159	650,756	10.4	6,562,854
無形固定資産	24,732	32,540	7,808	31.6	28,523
投資その他の資産	954,803	753,046	△201,756	△21.1	782,414
固定資産合計	7,227,938	7,684,746	456,808	6.3	7,373,792
資産合計	15,456,072	16,193,079	737,006	4.8	15,916,429
（負債の部）					
Ⅰ流動負債					
支払手形及び買掛金	3,459,200	3,455,961	△3,238	△0.1	3,851,732
短期借入金	1,841,500	2,028,367	186,867	10.1	1,516,668
その他	1,013,086	1,297,537	284,451	28.1	1,310,852
流動負債合計	6,313,786	6,781,866	468,079	7.4	6,679,253
Ⅱ固定負債					
社債	700,000	400,000	△300,000	△42.9	400,000
長期借入金	594,952	312,580	△282,372	△47.5	424,558
退職給付引当金	641,819	630,137	△11,681	△1.8	631,447
その他	228,123	275,805	47,681	20.9	231,961
固定負債合計	2,164,894	1,618,523	△546,371	△25.2	1,687,966
負債合計	8,478,681	8,400,389	△78,292	△0.9	8,367,220
（純資産の部）					
Ⅰ株主資本					
1 資本金	1,128,200	1,128,200	—	—	1,128,200
2 資本剰余金	908,565	908,565	—	—	908,565
3 利益剰余金	4,167,747	4,633,022	465,275	11.2	4,543,456
4 自己株式	△ 8,319	△ 10,206	△1,886	22.7	△ 10,138
株主資本合計	6,196,193	6,659,581	463,388	7.5	6,570,083
Ⅱ評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	168,822	132,735	△36,086	△21.4	150,678
2 為替換算調整勘定	△ 4,177	196,531	200,709	△4,805.0	108,808
評価・換算差額等合計	164,645	329,267	164,622	100.0	259,486
Ⅲ少数株主持分	616,552	803,840	187,287	30.4	719,639
純資産合計	6,977,391	7,792,690	815,298	11.7	7,549,209
負債、純資産合計	15,456,072	16,193,079	737,006	4.8	15,916,429

(2)　（要約）四半期連結損益計算書　（単位：千円、％）

科　目	前年同四半期（平成19年3月期第1四半期）金額	当四半期（平成20年3月期第1四半期）金額	増減 金額	増減 増減額	（参考）前期（平成19年3月期）金額
Ⅰ　売上高	3,804,271	3,638,115	△166,156	△4.4	16,266,017
Ⅱ　売上原価	2,878,991	2,691,777	△187,214	△6.5	12,362,611
売上総利益	925,279	946,337	21,058	2.3	3,903,405
Ⅲ　販売費及び一般管理費	646,794	681,694	34,900	5.4	2,714,847
営業利益	278,485	264,643	△13,842	△5.0	1,188,558
Ⅳ　営業外収益	33,172	27,403	△5,769	△17.4	175,186
Ⅴ　営業外費用	46,702	37,119	△9,583	△20.5	168,404
経常利益	264,955	254,927	△10,028	△3.8	1,195,339
Ⅵ　特別利益	27,031	2,790	△24,240	△89.7	56,875
Ⅶ　特別損失	55,475	14,653	△40,821	△73.6	64,355
税金等調整前四半期（当期）純利益	236,511	243,064	6,552	2.8	1,187,859
法人税、住民税及び事業税	74,139	133,887	59,747	80.6	377,668
法人税等調整額	1,249	△　38,743	△39,992	△3,200.7	138,930
少数株主利益	38,585	25,433	△13,152	△34.1	140,094
四半期（当期）純利益	122,536	122,487	△49	―	531,166